

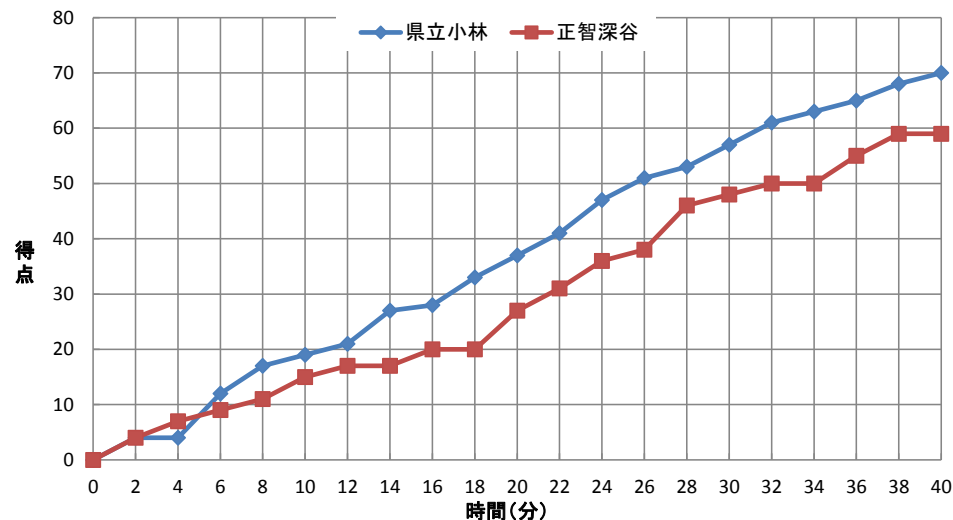


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成28年7月31日 12:50 開始													
1回戦		広島サンブラザ B													
◎ 県立小林 (宮崎県)	70	<table border="1"> <tr><td>19</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>11</td></tr> </table>	19	1st	15	18	2nd	12	20	3rd	21	13	4th	11	59 正智深谷 (埼玉県)
19	1st	15													
18	2nd	12													
20	3rd	21													
13	4th	11													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則		
* 4	伊達 蓮	0	0	0	0	0	* 4	洲崎 志織	15	0	6	3	4		
5	成崎 晶	9	0	4	1	0	* 5	出牛 南帆	9	1	3	0	2		
* 6	岩切 満梨乃	9	1	3	0	3	* 6	湯浅 帆乃果	4	0	2	0	5		
* 7	加治屋 千遥	26	1	11	1	2	* 7	星 彩美	13	4	0	1	1		
* 8	板井 朋絵	11	3	1	0	2	* 8	笹本 有紀	14	2	3	2	3		
9	中村 有希	0	0	0	0	0	9	山崎 詩歩	4	0	1	2	0		
10	永友 ひなた	0	0	0	0	0	10	櫻井 美紅	0	0	0	0	0		
11	井ノ口 なな子	-	-	-	-	-	11	小林 杏菜	0	0	0	0	0		
12	成崎 結	0	0	0	0	0	12	真鍋 瑞希	0	0	0	0	0		
* 13	飯隈 愛理	13	0	6	1	3	13	重野 寧々	0	0	0	0	0		
14	佐藤 優来	0	0	0	0	0	14	三枝 菜々	0	0	0	0	0		
15	下之菌 真心	2	0	1	0	0	15	福島 帆奈美	0	0	0	0	0		
コーチ	前村 かおり					0	コーチ	飯野 英利					0		
Aコーチ	海江田 早紀						Aコーチ	藤本 未祐							
合計		70	5	26	3	10	合計		59	7	15	8	15		
主審: 阿部知裕															
副審: 重田 知見															

得点経過



CTO	1・2P	3・4P				OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	16:36	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	12:06	17:43	24:25	32:32	34:57	:	:	:	:

〔戦評〕

第1P、スタートは小林#4、6、7、8、13、正智深谷#4、5、6、7、8。小林のディフェンスはハーフコートマンツーマン。小林#13が正智深谷のインサイド#4に対して力強いディフェンスをし、中でのプレイをさせない。対する正智深谷のディフェンスはオールコートマンツーマン。ポールマンに対して厳しく守り、楽なシュートを打たせない。その中でも、両チーム外のシュートがよく決まった。小林は、相手の厳しいディフェンスを受けながらも、#6や#7が連続で得点を重ねた。正智深谷も#4を中心に、粘り強く得点を重ねた。19対15、小林リードで終了。

第2P、開始直後に正智深谷#5がオフェンスチャージングをもらっ好プレイ。しかし、ここから正智深谷のシュートが決まらない苦しい時間帯が続いた。これをチャンスとみた小林は、2-1-2ゾーンプレスとマンツーマンのチェンジングで流れを掴もうとした。対する正智深谷も、1-1-2-1ゾーンプレスで仕掛ける。どちらかに大きく流れが傾くわけではなかったが、徐々に小林がリードを広げていった。小林#8と正智深谷#8は連続3Pで自チームを盛り上げた。37対27、小林リードで前半終了。

第3P、小林は#5、#7、#13がインサイドで得点を重ねる。とくに、#7の高さとシュートエリアの広さに正智深谷は苦しめられた。正智深谷は#5、#7、#8が3Pやドライブインで得点を重ねた。両チーム点の取り合いになるが、得点差はほぼ変わらず、57対48で小林がリードし終了。

第4P、序盤、小林の2-1-2ゾーンプレスが成功。連続得点を許し、正智深谷たまらずタイムアウトを要求。残り7分半で得点は63対50。正智深谷は#7の3P、#4の力強いプレイで粘りを見せるが、点差を縮めることができず試合終了。70対59、#7を中心にインサイドで得点を重ね、前半のリードを守り抜いた小林が2回戦に駒を進めた。

戦評: 西本 宏典

記録: 海田高校